

宗教学

宗教文化研究科
宗教文化研究専攻(修士課程)



臨床心理学

臨床人間学研究科
臨床心理学専攻(修士課程)

【国家資格公認心理師資格対応大学院】
【(財)日本臨床心理士資格認定協会第1種指定大学院】



体育学

体育学研究科
体育学専攻(修士課程)



世界はますますグローバル化・ボーダーレス化が進み、異文化や他宗教との接点が増えるにつれて、宗教文化に関する的確な知識に基づく相互理解の重要性が高まっています。現代の国際関係や政治・経済、文化から家庭問題まで、もはや宗教なしには語れないと言えるでしょう。本専攻ではこうした前提のもと、世界の多様な宗教文化の研究を通して人間の本質について洞察を深め、現代社会における宗教の意義を探究。高度な専門的知識と豊かな見識を活かして対話や共存の場を育み、他宗教・異文化間のかけ橋となる人材を育てます。

課程修了後の進路

■想定される進路

- ・公務員
・外務省・国際機関
・商社をはじめ一般企業
- ・各種文化施設
・国内外の天理教施設
・国内外の研究機関 など

■「3年制」という選択肢も!

社会人を含む多様な人材を想定。「2年間の学費で3年間」履修できる長期履修学生制度があります。 ※別途条件があります。

箱庭療法を日本に初めて導入した河合隼雄先生の伝統を受け継ぐ気風のなか、ひとと人が出会うことから始まる臨床心理学の真髄に触れ、他者に奥底から寄りそうことができる心理専門職を育成。教育現場、医療現場をはじめ、臨床心理学が求められるさまざまな領域で生きる、高度な専門知識と心理専門職としての技能・姿勢を養います。さらに、他者への貢献を基本とし、生きた心と心の出会いを通して心の深さを知り、人や人生に畏敬の念を持つことで、自他を受け入れる姿勢を育みます。

課程修了後の進路

心理職として、教育・医療・福祉などのさまざまな現場で活躍する道が開かれています。
※公認心理師になるためには、修士課程修了後に公認心理師国家試験に合格する必要があります。
※臨床心理士になるためには、修士課程修了後に(財)日本臨床心理士資格認定協会の資格試験に合格する必要があります。

■職種 ・公務員(子ども家庭支援センターなど) ・児童養護施設 心理職 ・精神科クリニック
サイコロジスト ・スクールカウンセラー ・適応指導教室 心理職

■就職実績(常勤)

・奈良県公務員(子ども家庭支援センター)・天理市教育総合センター ・社会福祉法人 因伯子ども学園・社会福祉法人 天理養徳院・児童養護施設 白梅園・西宮市教育委員会・京都市児童相談所・群馬県スクールカウンセラー・精神科病院カウンセラー(万葉クリニック・秋津鴻池病院・上野病院 ほか)

スポーツが国際化・多様化する一方で、現代は心身の問題も多発しています。多くのアスリートや指導者を輩出してきた天理大学の伝統を、武道・スポーツ文化、保健・スポーツ教育、健康・スポーツ科学の学びに活かし、これからの社会でスポーツ・体育・健康の魅力や意義を伝えるリーダーを育成します。科学的な分析や理論の追究とともに、数々の実践を通じて指導者の素養を磨きます。国境を越えてスポーツの楽しさを共有し、海外のスポーツ事情を学ぶ海外インターンシップもその一つです。また、関西で私立大学初の保健体育教員養成校としての実績を活かし、教員としての高度な専門知識を養います。

課程修了後の進路

■想定される進路

- ・保健体育科教員・競技スポーツ指導者・スポーツリーダー・健康づくりサポーター
・地域スポーツ指導者 一般企業・中学校教諭 専修免許状(保健体育)
・高等学校教諭 専修免許状(保健体育)※ ・各種スポーツ産業従事者 など

※ 所定の単位取得が必要で、第一種免許状の取得が前提となります。なお、第一種免許状は、大学院入学後に科目等履修制度(要登録費用等)を利用して学部授業科目を履修することにより取得可能です。

■「3年制」という選択肢も!

社会人を含む多様な人材を想定。「2年間の学費で3年間」履修できる長期履修学生制度があります。 ※別途条件があります。

人と世界を見つめる授業

〔比較宗教研究〕

世界各地でさまざまに異なる宗教の姿。それぞれの教義などを丹念に比較しながら、違いと共通点を分析。宗教、そして人類の本質に迫る宗教人類学について考察を深めます。

〔天理教研究演習〕

天理教と世界の宗教を比較するなど、宗教を客観視。現代の宗教学などの研究成果を踏まえ、神観、救済観、人間観、世界観、倫理観の特質を比較宗教学的に明らかにします。

〔宗教文化研究〕

英文テキストで社会学・人類学について理解を深めた後、日本や異文化のさまざまな事例を学習。奈良県内の祭事にもフィールドワークに赴き、宗教文化研究の理解を深めます。

〔海外研究プロジェクト〕

修士論文作成のため希望に応じ、長期休業中に海外の研究機関や宗教施設などで2週間ほどの調査・研究を行います。海外分校や世界各地の天理教施設を拠点にもできます。

対話、接触、伝道。人と社会に活かす3つの実践

宗教間対話

かつて、「天理教とキリスト教の対話」というシンポジウムが開かれました。このように他者とまず話し合い、互いを理解しようとすることから、グローバル社会を多角的に理解することが可能になります。

異文化接触

対話のなか、「互いの異なることは何か?」を恐れず明らかにしていくからこそ、「共通する思想や目的、行動」が見えてきます。実際、そこから生まれた異文化間、宗教間の協働も数々あります。

異文化伝道

伝道とは押しつけではなく、関係をつくること。他者との違いや考えを理解し、その上で自分のことを知ってもらいます。夫婦関係をはじめとした人間関係と同じ。価値観を共有することが大切です。

人を支える力を磨く、実践的授業

〔ケース・カンファレンス〕

院生が心理療法面接で担当する事例を多角度から検討し、自由に意見を交わす場です。担当者が事例への理解を深めるとともに、参加者全員も新たな知見を得る機会となっています。

〔スーパーヴィジョン〕

院生が担当する臨床事例に関して、経験豊かな臨床心理士・公認心理師のマンツーマン指導が受けられます。学内外の専門家から学ぶことで、臨床経験の質を深めることができます。

〔心理療法面接〕

附属カウンセリングルームで、実際のクライアントを院生が担当。心理療法の実践を通して、臨床心理士や公認心理師としての基本的態度や理解の視点を学びます。

〔学外実習〕

市町村教育支援センター、幼稚園、小学校、病院、児童福祉施設との連携を活かし、週1回の実習をそれぞれの現場で実践。現場経験を積み、人間理解の幅を広げます。

本専攻が重視する臨床心理学の教育体制

少人数制

1学年8名につき、教員7名(うち兼任1名)という徹底した少人数制。緻密な指導や濃密な議論も可能な教育環境で、一人ひとりを見守ります。

臨床実践

本学のカウンセリングルームで、心理臨床の基礎である面接を実践実習できる機会が充実。クライアントとの対話によって実践力が磨かれ、視野が広がります。

充実した実習体制

関連施設として幼稚園、小学校、病院、児童養護施設などがあり、天理市教育総合センターなどの地域施設との連携を活かし、学外実習で研鑽を積むことができます。

実践力と知見を磨く、高度な授業

〔インターンシップ〕

奈良県内のトップスポーツチームの試合運営、ならびに関連する事業の企画を通じて、スポーツ・マネジメント関連の知見を実践的に身につけます。

〔海外インターンシップ〕

海外(ドイツなど)で、提携の地域スポーツクラブを拠点にスポーツ指導、施設管理などに従事し、スポーツ文化の多様性理解や指導力向上につなげます。

〔スポーツ比較文化特論〕

遊びや観戦、信仰など、スポーツの文化的側面を学び、人間にとってスポーツはどのような役割を果たしてきたのか、今後どんな役割を求められるのかを考察します。

〔コーチング科学特論〕

スポーツのコーチングに関する一般理論を学ぶとともに、ゲーム分析や視線分析などのパフォーマンス分析の手法および分析結果の活用方法についても理解を深めます。

教育と科学の視点から、スポーツの可能性を探究

スポーツの魅力や方法を正しく伝える教育の力と、最新の知見に基づいて判断を下すことのできる科学の力。その双方を磨き、高度な指導者を育成します。

武道・スポーツ文化領域	・武道・スポーツ文化研究法・武道学特論／演習・武道指導特論／演習 ・スポーツ比較文化特論／演習・スポーツマネジメント特論／演習	・体育科指導実践実習 ・保健体育科指導特別演習 ・インターンシップ ・海外インターンシップ ・体育学特別研究(修士論文作成) など
保健・スポーツ教育領域	・保健・スポーツ教育研究法・体育科指導特論／演習・学校保健学特論／演習 ・体育科教育特論／演習・身体表現学特論／演習	
健康・スポーツ科学領域	・健康・スポーツ科学研究法・体力科学特論／演習・スポーツ医学特論／演習 ・トレーニング科学特論／演習・スポーツ栄養学特論／演習	